

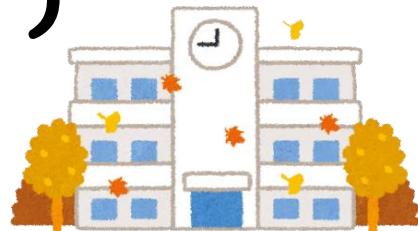
ナウマン通信



2020年
11月2日発行
第23号

大阪市立我孫子南中学校

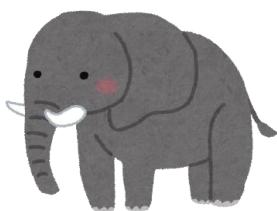
11.1 創立の日に思う



11月1日は我孫子南中学校の創立記念日ということをみんなさんは知っていましたか？なぜこの日が創立記念日なのか、少し難しくなるかもしれませんのが大切なことなので紹介したいと思います。我孫子南中学校が開校したのは

1995年4月1日です。本当ならこの日を創立記念日にもと思うかもしれません。そこで、少しこの地域の歴史を振り返ってみたいと思います。我孫子南中学校ができるまではこの地域の中学生は我孫子中学校に通っていました。しかし、我孫子中学校の全校生徒数が2000人を超えるようになり、東我孫子中学校ができたもののそれでも生徒数が多く、もう一つ学校が必要ということになりました。まずこれが一つの歴史です。

もう一つは、みんなも知っている通り、当時あび南を含むこの辺りは地下鉄（現大阪メトロ）の車庫がありました。甲子園球場がゆうに3つか4つは入るくらいの広大な土地でした。この車庫と大阪市立大学、大和川、吾彦大橋に四方を囲まれるように浅香の地域は陸の孤島のようになっていました。様々な人が交流し、すべての人が人間らしく生きていける、そんな「にんげんの街」を作るために多くの方々が努力をされました。その結果地下鉄車庫の撤去、移転が決まりました。そして、その”跡地”を最大限に活用して街づくりが始まったのです。これがもう一つの歴史です。最初に紹介したようにもう一つ中学校が必要でしたが、土地がないために進まなかった中学校の開設が大きく動き出したのです。大阪市や住吉区と何度も話し合い、交渉する中で**1993年11月1日**に『新設の住吉第8中学校（現我孫子南中学校）の通学区域並びに我孫子中学校及び東我孫子中学校の通学区域の決定、告示』がされたのです。ようはどこに住んでいる人がどの中学校に通うかという**「校区編成が決定し、新中学校の開設準備委員会が設置された日」**を創立記念日としたのです。この日から新校舎建設に向けての工事が始まりました。しかしこの時にナ



ウマンゾウやヤベオオツノジカなどの足跡化石が発見されたのです。慌てました。なぜか？実はもしその時に人間の足跡が発見され生活していた様子が化石として見つかると、調査のため学校を建てることができなかったのです。このような経過をたどり、念願の我孫子南中学校が1995年4月に開校しました。今年が26年目です。

この足跡化石の発掘をきっかけに1階多目的ホールにナウマンゾウの足跡化石の複製や各時代の地層が発掘当時のまま展示されているのです。さらにナウマンゾウがいた時代の大阪の地形や環境の展示から始まり、弥生時代のムラや墓の跡から出土した弥生土器や石器、古墳時代や奈良時代の土器や石製品など、この地域の歴史を物語るたくさんの出土品を展示しているのがアビナン・ミュージアムなのです。まだまだ、書ききれないほどの歴史がありますが、また機会があれば紹介していきます。とにかくこんな学校は他にはありません。みんなでこの歴史と学校を大切にしていきたいと思います。